

# COLUMN

鎌倉の猫事情 今までのお話 その三  
(亡きシュガーの独白より)

お互い出会った時にはほんの子猫だったグーニーとスィーピーの夫婦は、1年程経つと、可愛い真っ白な女の子を産みました。初めてのお産でも、猫は里に帰るわけでもありませんから、私もやきもき気をもんで見ていたのですが、あの子はちゃんといよいよ産まれるという時に、女主人にいつもと違う声で鳴いたり、身振り手振りして話をするんです。それで女主人の方はその意味がわかったようで、出産に立ち会っていましたよ。それから出産の度に、そんな事をくり返して、もう何度目かになると、あの子の方から不安げに、「もう、産まれるわ」と、話しかけると女主人の方は、「まだまだ大丈夫。まだ1週間も先よ」、「そう、よかった」なんて、会話してましたよ。猫と人間はちゃんと話ができるってわけですね。最初の出産は一匹だけでしたが、すぐ、最初の子猫が育つか育たないかのうちに六匹の子猫を産みました。それから、次々と可愛い子猫を産みました。お腹に子猫がいる内にしっかり太っておいて、ひたすら六匹の子猫たちにお乳をあげて次々と育て



あげていきました。それはもう見ていて気持ち良いくらいに、てきぱきと、産んでは育て、育ては産んで、37匹もね。皆白くて可愛らしくて元気な子ばかり。母猫の方はひと月ばかりで皆を育てあげた頃には、骨と皮ばかりになってましたけど。ところが大抵元気な赤ちゃんでしたけど、その年はとても暑い夏で、産まれた六匹の子猫たちが蚤どもにやられちまって、お店の人も総出で代わる代わる六匹の子猫たちをバケツに入れてお湯でごしごし洗ってやっただけなんですけどね、ずいぶん弱った子猫が一匹だけいて、窓際で母猫のおっぱいを、がんばって兄弟たちに混じって吸っていたんですが、力尽きちゃったんでしょうね、主人が気づいた時には、おっぱいを啜えたまま冷たくなっていたんですよ。それは、あの世の私から見てても、哀れでつい涙がこぼれたものです。でも、スィーピーはいつまでもよくよしてませんでしたよ。あの頃、あの夫婦は、とっても幸せだったんです。



to be continued

## Information

ミルクホールタイムスは、毎月定期刊行しております。定期購読を希望される方を募集いたしております。

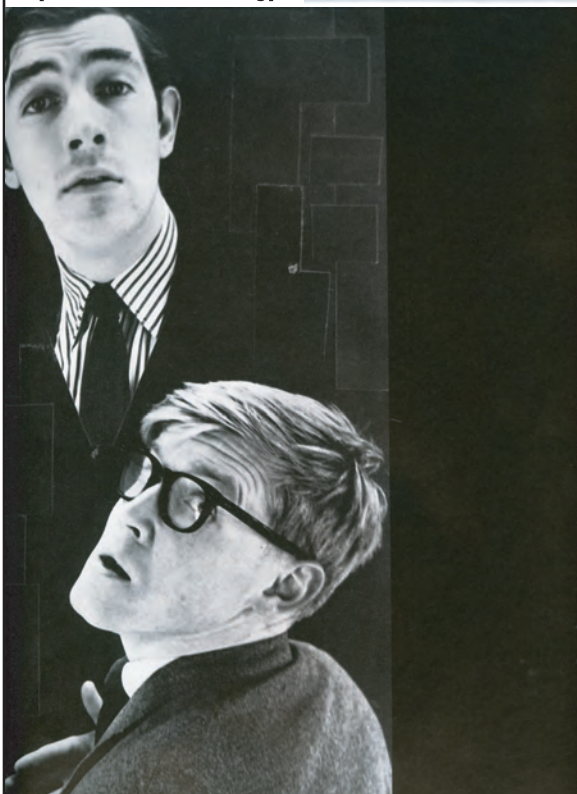
発行日 毎月25日

購読料 年間¥1500

詳しくは裏面にて



ミルクホールタイムスのバックナンバーは、ミルクホールのHPにて掲載しています。どうぞご利用下さい。  
<http://www.milkhall.co.jp/>



## Mother

お母さん

訃報です。

私事ではありますが、たびたび鎌倉の猫事情に登場し、つい最近では新年号に登場し、シュガーの亡骸を杖でつづいていたあのお婆が、とうとうあの世へ旅立ちました。2月17日の朝の事です。ミルクホールは追悼のため2日間営業をお休みし、スタッフ全員で葬儀を執り行いました。このお婆、ミルクホールのあるこの家の、押しも押されぬ頂点に君臨する女主人でありました。大正4年に生まれ、伊豆の野山に囲まれて育った母の小さい頃のいでたちは、着物は当然ですが、髪を全部頭の天辺まで持ち上げて二つの輪っかに結っていたそうです。おとぎ話の牛若丸のような感じだと言っていました。年に一度のお祭りの日は皆で馬車に乗り三島まで遊びに行ったそうです。田舎は蕪山で、その又お祖母さんは、もとは江戸の武家の奥方だったのですが、家来と駆け落ちをして蕪山に住み着いたそうです。夫婦になっても主従関係は生涯変わらなかったようで、いつも囲炉裏の前の上座にでんと座って、大変怖かったそうです。お祖母さんは生涯きゅうりを口にできなかったそうです。切り口が葵の御紋に似ているからと、武士はきゅうりを食べないものなのです。成人し看護婦となった母は、田舎を後にし、戦時中、中国大陸に渡りました。お国の為に、そして、田舎へ幾ばくかを仕送りする為に。戦争中8年の間、中国の青島で看護婦として働きました。昭和20年には、大陸も海も本土も火の海と化した中、患者とその家族100人余りを率いて東京へ送り届け、その足で一人中国へと戻る途中、通りかかった名古屋は大空襲の日だったそうで、汽車が止まり回り一面燃えていたそうです。戦火の中、朝鮮半島を縦断して青島へ戻りました。終戦後、中国で出会った父と共に帰国しました。その後は家族で住んでいた駅母さんの家が全焼するという災難にも合い、家の為にひたすら働き続けました。色々話もしてくれましたが、母は普段は無口で頑ななところもあり、苦勞話をしない人でしたから、私は、気持ちをわかりかねて悩むこともありました。「ふん、負けちゃいけないよ」と、言うところだったのでしょうか。生前は身を飾ることをしない人でしたが、眠るように亡くなった後は、紫陽花の浴衣を着、娘時代を思わせるような美しい死に顔でした。黙々と働き続け、我慢に我慢を重ねた生涯でした。

長く厳しい旅路の果てに、ようやく、穏やかに、全ての苦勞が取り払われたように、静かな顔をしていました。話そうにも言葉にできるような苦勞じゃなかったということが、やっと今、わかりました。

お母さん、梅が咲きましたよ！ 本当に長い間ご苦勞様でした。 磯見や丞 享年92歳



# Milk Hall Times

## ミルクホールタイムス 総集編

### 「鎌倉ミルクホールタイムス」

No.001 ~ No.100 ¥1800

ミルクホールタイムス創刊号から100号まで全てを編集した、ミルクホールタイムス総集編です。好評連載中の「鎌倉の猫事情」が第一話から前編最後まで掲載されています。ミルクホール30年の楽しめる本になっています。タイムス購読とあわせてご利用頂ければ幸いです。

## ミルクホールタイムス定期購読者募集!

ミルクホールタイムスは、毎月25日の定期刊行しております。定期購読の申し込みについては、当社経費の為年間1500円を、頂いております。定期購読お申し込みの方へは、毎月25日に発送致します。メール、FAX、お葉書などのお申し込みをお待ちしています。

お支払い方法は、郵便振替用紙を同封し郵送致します。

〒248-0006

鎌倉市小町2-3-8

ミルクホールタイムス  
編集部

PHONE 0467-22-1179

FAX 0467-24-9537

e-mail/ info@milkhall.co.jp



## アルバイト募集

ミルクホールで働く人募集しています

ウェ이터  
ウェイトレス  
及び バーター

男女不問・18歳以上  
土日・祝日を含み  
週3~5日

ご希望の方は、ミルクホールにご連絡の上、簡単な履歴書をお持ち下さい。



## LIVE

3月は第二、第三土曜日の夜を二週連続のミルクホールのライブで、BAR TIMEをお楽しみください

## PLAY BOAT 再び

あのプレイボートの歌姫たち+鳴海周二

3/8 19:00~

ミルクホールが総力を挙げてお送りする  
「貴方と嘘と夜と音楽」

Half Moon

琢磨 仁のベース

野島健太郎のピアノ

山岸諒子(離風霊船)

松井裕子

那珂村タカコ(ヘロヘロQカンパニ)

そして甦る鳴海周二 池田ヒトシ

JAZZ

NIGHT



3/15 19:30~

by HALF MOON

HALF MOONの音楽は  
愛と平和を歌います。

琢磨 仁(Jin Takuma)

琢磨 啓子(Keiko Takuma)

<http://www.e-half-moon.com/>

## HISTORY

KAMAKURA

場所の記憶

22

カトリック雪ノ下教会 その2

鎌倉八幡宮に通じる段蔓の参道を見下ろす雪の下教会聖堂外側正面掲げられた、黄金色に輝くモザイク画によって描かれているのは、『絶えざる御助けの聖母』の絵です。1949年3人の神父によって創立されたこの教会は、1958年今の重厚な新聖堂に生まれ変わりました。カトリック雪ノ下教会と絶えざる御助けの聖母とは創立当初から不思議な縁によって結ばれているようで、雪ノ下教会は絶えざる御助けの聖母に捧げられています。今でも、その聖母の祝日、6月27日を大切にお祝しているということです。

また、雪ノ下教会では、グロリア少年合唱団の活動も古くから行われていて、鎌倉に生まれ育った子供たちの多くがその可愛らしい活動に参加し、幼いころヨーロッパに渡って唄ったことがあるというような話も多いのです。鎌倉では特に珍しいことでもないようで、よそのお宅に伺ったりすると居間に、グロリア合唱団の白いガウンを着て子供たちが並んでいる外国で写したと思われる記念写真が飾ってあるのをよく見掛けます。他の土地から来た私は、始めは驚くことが多くありました。このように、住民の暮らしに、カトリック教会が自然に溶け込んでいる町は、日本では、他には長崎くらいなものではないでしょうか。長崎といえば、キリシタン殉教の凄惨な歴史が地のあちこちに刻まれています。ところが、あまり知られていないことですが、鎌倉にもキリシタン殉教の例が過去にあったということです。 次号に続く





ミルクホール

骨董・ガラクタ市

# 春の市

日本の木の香りを大切にしたい  
 ミルクホールの蚤の市  
 明治・大正時代に日本で作られた和洋家具  
 温かい光を作るランプシェードやガラス  
 明治の銅版・大正の色絵、伊万里  
 懐かしいもの、掘り出し物で一杯です

3/20 Thu. - 23 Sun.

ミルクホールにて 朝11時より 夕方6時まで

## ANTIQUES

### ♠ 和洋家具

明治・大正・昭和初期の和洋家具です  
 衣裳箆笥・小箆笥・ケース

- 大正時代両面鏡額縁付き
- 大正時代ガラス水屋
- 明治時代衣裳箆笥 抽斗2段
- 明治・大正時代小箆笥各種
- 昭和初期デスク色々
- 明治・昭和文机各種
- 大正時代衣裳箆笥各種
- 大正時代ガラスケース

### ♣ 古民芸・骨董

- 道教の壁画 女人像
- 大正時代ランプ
- 明治染付タイル
- 李朝盆・根来碗
- 灯籠台天燈器
- 浮世絵硝子絵
- アフガン石仏
- 高麗青磁色々
- 古瓦各種

### ♣ 古陶磁

伊万里・古伊万里・明治べろ藍・  
 大正色絵等々買いやすい価格で入荷

- 古伊万里染付鉢
- 幕末伊万里そば猪口
- 江戸中期古唐津水盤
- 明治銅版小皿 文明開化絵皿
- 伊万里輪茶碗・そば猪口各種
- 古伊万里豆皿・なます
- 明治瀬戸石皿・鉢



### ◆ アンティーク

- 病院用スタンドライト
- 昭和初期レジスター
- 明治・大正のレースガラス
- 額絵 スタンドグラス
- アンティークシェード各種
- レプリカシェード ¥5800より

### 👉 新入荷

当日の朝の  
 新入荷もあります。  
 まだ何が来るか  
 わかりません。  
 お楽しみに...

### 着物・アンティーク古着

大正・昭和初期に大流行した斬新なデザインの  
 銘仙やお召しの着物など入荷しています

- 久留米緋 ¥7800より 銘仙着物 ¥6500より
- お召し ¥6800より 小紋 ¥3800より



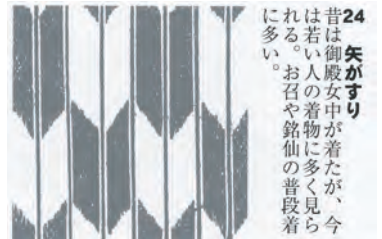
伊万里・古伊万里  
 骨董・アンティーク

20%引き

古布

古着・着物

30%引き



昔は御殿女中が着たが、今は若い人の着物に多く見られる。お召や銘仙の普段着に多い。

つくり帯  
 半衿・帯揚げ  
 くるみボタン  
 かんざし  
**和の小もの**

ミルクホールオリジナル和の小もの  
 大正・昭和初期時代の絹の着物の布  
 地を素材に使った和の小もの色々です

### ✂ 半衿・帯揚げ

昔の着物をほどこいて半衿に仕立て  
 ました。着物のおしゃれのポイントは  
 半衿です。使いやすいのは絞りの半  
 衿、大正風にアレンジするなら鮮やか  
 な柄物の銘仙など、個性的なコーデ  
 ネットが楽しめます。

半衿 ¥800より 帯揚げ ¥800より  
 お得な半衿3点set ¥1800より

### ✂ 古布

長尺ものから 端切れまで  
 1メートル ¥1000ほど

### ✂ 帯・つくり帯

ミルクホール新作帯

大正・昭和初期の華やかな着物を解いて  
 帯に仕立てました。ミルクホールのオリジ  
 ナル。半幅帯・名古屋作り帯の2種類です。

名古屋作り帯  
 オリジナル半幅帯  
 大正・昭和初期名古屋帯  
 半幅各種